

# 著書紹介

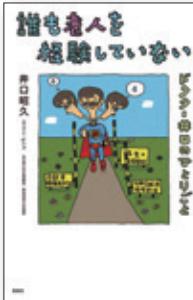
著者自らが新刊を紹介します。



## 格闘武術・柔術柔道書集成 第Ⅲ回 昭和(戦前期)の格闘武術・柔道書 全八巻

健康医療科学部・准教授・矢野裕介(共編)

- ▶ A5判 ▶ 4,830ページ ▶ クレス出版
- ▶ 本体153,000円+税 ▶ 2020年3月25日発行
- ▶ 1940年東京オリンピックが返上され、国際協調を旨としたスポーツや柔道が否定されだし、厚生省が國防力としての体力の国家管理を目指してスポーツ界を総動員化し始めた。そうした中、芽を吹き出した空手、合気道等はどのように展開されていったのか、その実際を示す貴重な資料を収録。



## 誰も老人を経験していない ドクター井口のひとりごと

健康医療科学部・教授・井口昭久

- ▶ 四六判 ▶ 187ページ ▶ 風媒社
- ▶ 本体1,400円+税 ▶ 2019年9月15日発行
- ▶ 人生の哀歎を描き出す短編エッセイ集。第6弾の本書は、歳を重ねるごとに増える未知なるも興味深い体験を多数掲載。医師・大学教員としての日常のひとこまや、故郷・伊那での思い出とともに、誰もが経験したことのない“老人”について、笑いと哀愁を織り交ぜながら綴った。



## 巨大ロボットの社会学 戦後日本が生んだ想像力のゆくえ

創造表現学部・講師・松井広志(共著)

- ▶ A5判 ▶ 222ページ ▶ 法律文化社
- ▶ 本体2,700円+税 ▶ 2019年11月25日発行
- ▶ 戦後日本のアニメでは「巨大な人型ロボット」という存在が描かれてきた。本書はこうした巨大ロボットを「想像力」という視点から考察した社会学の論文集である。アニメの物語や世界観の分析とともに、他のメディア文化領域(ゲーム・玩具・観光)と交差する研究も含まれている。



## 研究テーマ別 注意の生涯発達心理学

心理学部・教授・坂田陽子(編者、共著)

- ▶ A5判 ▶ 212ページ ▶ ナカニシヤ出版
- ▶ 本体3,000円+税 ▶ 2020年3月20日発行
- ▶ 発達心理学と認知心理学の融合点から注意研究を整理しなおし、さらにテーマ別に、乳幼児、成人、高齢者の研究を紹介するという、年齢を縦割りにしたスタイル。注意と関連するトレーニング効果や認知症などの最新のトピックも入れ、オリジナリティあふれる内容となっている。